

## 2025年度 インカレ出場枠決定方式に関する競技部からのご提案

2025年度のインカレ出場枠数について9月に開催予定の日学理事会にて最終決定される。例年通り5枠となるか、あるいは4枠となるかは現時点では不明である。このため、I部リーグにおけるインカレ出場チームの決定方法について、競技部にて協議を行った(7/15)。その結果、以下の方針を提案します。

### 1. リーグ戦方式

- ・1巡目:10チームによる総当たり戦(全9試合)
- ・2巡目:順位により以下の通り分割
  - 上位4チームによる上位リーグ
  - 下位6チームによる下位リーグ

### 2. インカレ出場枠が「4枠」の場合の特別措置(5枠だった場合は実施しない)

#### ■ チャレンジマッチ方式

- ・目的:1巡目時点でインカレ出場チームを決定しないという原則の継承
- ・対戦:2巡目終了後、4位チームと5位チームによるプレーオフを実施
- ・形式:
  - ・4位チームには「1勝のアドバンテージ」を与える
  - ・5位チームは2勝が必要(最大2試合)
  - ・初戦で4位が敗戦した場合、第2戦は4位チームのホームコートで実施する

### 3. チャレンジマッチ実施における懸念事項

・インカレ抽選会に間に合わせる必要がある場合、最終戦(2巡目最終日)を11月1日とし、以下のスケジュールでの実施を想定

- ・11月3日:チャレンジマッチ第1戦
- ・11月4日:第2戦(必要な場合、4位チームホームにて)

※上記スケジュールでは、両チームにとってコンディション調整が困難であり、過密日程が懸念されるため、

11月8日・9日にチャレンジマッチを行えるよう、日学に確認・配慮を要請できるのかについて執行部に確認する。

### 4. 方式に関する比較・考察

方式	特徴	懸念点
4-6方式(上位4・下位6)	インカレ枠が4の場合のみチャレンジマッチを実施可能	下位の5位にチャンスを与える形式であるが、スケジュール過密については検討が必要
6-4方式(上位6・下位4)	インカレ枠数にかかわらず、6チームでインカレ争いが可能	下位4チームは1巡目でインカレ出場の可能性が消える
5-5方式	公平に分かれるが、インカレ枠が5だった場合に1巡目で出場決定の可能性(4だった場合は一巡目で決定しない)	最終日に試合がないチームが出るなど、運営上のバランスが難しい

### 5.まとめ

2026年度からは、I部8チームによる2巡制の導入が予定されており、今後の制度設計においても「競技力の強化」という視点が重要となります。

競技部としては、以下の 2 点を特に重視しています。

- ① 安心・安全に試合を進行できる体制の整備
- ② インカレ出場枠を一巡目で確定させない仕組みの構築

これらの観点から、3 時間に及ぶ議論の末に、「チャレンジマッチ方式」の導入が有効であると判断しました。

この方式は、

- ・上位チームにとっては、最後まで緊張感を持って試合に臨める
- ・下位チームにとっても、順位決定に注力しつつ、インカレ出場の可能性を最後まで維持できるメリットがあり、上位・下位ともに競技力向上に資する仕組みであると整理されました。